

図書館だより 7月号

令和7年7月1日発行
王滝村教育委員会
村民図書館
TEL:48-2134

開館日時:平日(開校日)午前8時～午後4時 読書会 7/10(木)、8月は休みです

『コンビニ人間』



著者:村田沙耶香
出版社:文春文庫

六月の読書会には、6名が参加しました。会るとき、話題は本の世界から膨らんで、時には脱線したり、また本の話に戻ったり。本を肴に話題が縦横無尽。楽しい集まりです。

村田紗耶香作『コンビニ人間』を薦められ

月に一度学校図書館で開かれる雑談の多い読書会の後の雑談で村民図書館の『コンビニ人間』(文春文庫)を薦められました。

コロナ以降対面接触の機会が減ってしまったコンビニストアですが、この狭い社会空間に集い関わりあう人間模様を描いた芥川賞受賞作です。極端に企画マニュアル化されたコンビニと「普通圧力」にさらされている「個」にこだわる主人公とどうしようもない(いやな・嫌いとしか見えない)登場人物の「個」とからむ物語です。この作品は読み手

の受け取り方がいろいろできるところがすごいです。また知らない新しい世界に「どう対応するか」「対応できますか」を問われているようでもあり、人と物との交流で大事なことは何かを考え続けたいと思いました。

実は『コンビニ人間』を薦められたときちょうど知っている(聞いたことのある、見たことのある)地名「門司港」が舞台の町田そのさんの『コンビニ兄弟』(新潮文庫)を読んだときで、何か「コンビニ」つながりがあったようです。どちらの「コンビニ」にも個性的な人々が集って来て語る喜怒哀楽を通して、人間が持つ悪を意識させてくれます。

自分のなかの妬みや恨みなどの負の感情をどう生活の中で折り合いをつけ、日々の暮らしの中にどううまく生かしていかなければならないかを考えさせられています。

(小川・植木雅史)

『コンビニ兄弟』



著者:町田そのこ
出版社:新潮文庫

書名	著者	出版社	一口コメント
あんばんまん 6冊	やなせたかし	フレーベル館	復刻版『あんばんまん』がひらがなです
こもれば	林 木林	光村教育図書	ちいさな花たちの悩みが、やさしいタッチで描かれています。
葉っぱの地図	ヤロー・タウンゼント	小学館	植物と話す能力を持つ少女が、壊れた世界を取り戻す薬学冒険ミステリー
ありか	妹尾まいこ	水鈴社	「これまでの私の人生を全部込めたと言い切れる作品を書きました」【在処】?
本と歩く人	カルステン・ヘン	白水社	35 か国で刊行ベストセラー小説 「おすすめの本歩いて届けます。」
捨てられた僕と母猫と奇跡	舟ヶ山 哲	プレジデント社	心に傷を負った僕と母猫の物語。 二人が見つけた居場所とは?

『雑草を攻略するための13の方法』 谷本雄治 山と溪谷社

『生きるための農業 地域をつくる農業』 菅野芳秀 大正大学出版舎

新刊本一部紹介